

平成18年度 事業評価書

| | | | | | |
|-----------|--------------------|------|-------|------|-------|
| 地 域 名 | 富山県富山市 | 選定年度 | H17年度 | 事業規模 | 大規模事業 |
| まちづくり協議会名 | とやま環境と創造の夢舞台づくり協議会 | | | | |
| モデル事業名 | 人と環境にやさしい都市とやま | | | | |

1. 事業の実施状況

| | | |
|-------|-------|--|
| 委託事業 | H17年度 | 普及啓発事業等として、視察調査の実施、講演会の開催、地域通貨システム(エコポイント)及び市民ファンドの設計等を実施。 |
| | H18年度 | 普及啓発事業等として、視察調査の実施、講演会の開催、地域通貨システム(エコポイント)の施行事業を実施。また、「環境定期預金」等を活用した資金調達方法を確立。 |
| 交付金事業 | H17年度 | バイオディーゼル燃料製造施設設置事業として、スーパー、飲食店、学校給食、家庭、食品工場から排出される廃食油からBDFを製造する。 |
| | H18年度 | 当初は風力発電事業を予定していたが、事業実施を中止。 |

2. 評価・分析

| | | | |
|----------------------------------|--|--------|---------------------|
| ①事業の特色・モデル性 | <p>富山市はエコタウンとしても地域承認を受け、リサイクル団地での資源循環などの観光産業の展開等、地域経済の発展に向けたリソースが整備されている。さらに、「地域新エネルギービジョン」に基づき新エネルギー導入を推進することとしており、その一環としてBDF化事業等を実施するもの。</p> <p>BDF化事業は、民間事業者による採算性のある事業であり、地域ぐるみで取り組むものである。また、BDFをエコタウン内の輸送車等に利用することでエコタウン内の環境配慮を一層促進させる目的がある。</p> <p>環境定期預金等、資金循環の観点から地域の金融、事業者、市民の連携を確立した点も評価できる。</p> | | |
| ②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等) | 二酸化炭素排出削減効果 | 備 考 | |
| | 目標値 | 2,332 | H17年度事業分 |
| | 実績値 | (67.9) | H17年度整備施設のH18年度稼働実績 |
| (目標値・実績値単位:t-CO ₂ /年) | | | |
| | <p>平成17年度にBDF製造プラント建設事業に着手しているが、事業遅延により平成19年2月に事業終了のため、平成18年度の効果測定はその一部である。二酸化炭素排出削減効果は得られているものの、目標に達しているとは言えないため、今後はBDFの販路拡大を行い、製造量に見合った販売量を確保すること等により、目標に近づくよう努力されたい。</p> | | |
| ③経済活性化効果 | <p>ソフト事業として、エコポイント施行事業の実施や「環境定期預金」等を活用した資金調達方法を確立するなど、環境事業向けに地域内で一定の資金が調達できる仕組みを構築したことは先進的取組として評価できる。今回の取組を他地域でも活かせるように情報発信に努めること。</p> | | |
| ④その他 | | | |